

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 30日

事業所名 カメの子 第1教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1つの部屋に集中しない様に、1階と2階で活動をしています。	天候が悪い日でも身体を動かして遊べる場所の確保をしたいと思います。
	2 職員の配置数は適切である	○		基準以上の人員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	バリアフリーではありませんが、マットを使用するなどの工夫をし危険がないよう配慮しています。	必要に応じて修繕、改修を検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃や除菌を徹底しています。マットを使用するなど、安心安全に活動していただける環境を調整しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間でその日ごとに意見を出し合っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的に評価表を配り、業務の改善に役立つようにしています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公表をしています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在行っていませんが、今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に内部研修を行っています。	コロナ禍で外部研修には中々参加出来ないの、オンライン研修や出前講座を利用して行いたいと思います。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントやモニタリングを通じて、保護者様のニーズの把握に努めています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		共通のアセスメントツールを利用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ニーズや関連機関からの情報を元に、必要性に応じた支援内容を設定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		体調等、職員間で情報共有し、立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			一人ひとりの個性を重視したり、その日、そのときの子どもの意向を重視して固定化しないよう工夫していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			子どもたちの中には集団を好まない児童もいるが、時間をかけて集団活動ができるよう支援計画を作成していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		送迎前に職員全体で打ち合わせをしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	職員の終了時間が違うためツールを使用し情報共有しています。	日々の支援の中で、利用者の良い面にも着目した「きらりノート」を新しく導入しています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日、提供表を記録しコピーを保護者様にお渡ししています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		適宜、モニタリングを行い、6ヶ月に1回個別支援計画の見直しを行います。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			関係機関との連携は密にとるよう心がけています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		看護師を中心に連携した支援を行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		看護師を中心に連携した支援を行っています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保育園・学校・支援級と、情報共有をし相互理解を図るよう心がけています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			情報共有をし相互理解を図るよう心がけています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			研修などで情報の交換を図るようにします。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			現在、交流の場は設けていませんが、地域の公共施設で過ごす機会が多いので一緒に過ごす時間もありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			研修などで情報の交換を図るよう努めています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の連絡帳や送迎で情報交換をしています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		必要に応じて情報提供を行っています。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			ガイドラインに応じて作成し、丁寧な説明を心がけています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的の様子を伺い、適宜相談に応じています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		現在行うことができていません。	コロナ禍でもあり難しいが、今後検討していきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		定期的の様子を伺い、適宜相談に応じています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的におたよりを発行して、お伝えしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施設で保管している個人情報については厳重に管理し、ミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			口頭で伝わりにくい場合は、メールや文章でのやり取りを行っていく。短く分かりやすい言葉で伝え、写真や絵カードを併用するなど、配慮を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現在行うことができていません。	コロナ禍でもあり難しいですが、今後検討していきたいと思っています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定しています。	年2回の、訓練を定期的に行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認し、職員で共有しています。	変更があった場合にはきちんと職員に周知をしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		必要に応じて指示書を頂いています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎日記入し、共有しています。	今後も情報共有し、ミーティングで改善点を話し合うようにします。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止マニュアルを作成し、研修を行っています。	虐待防止関連の認識を強めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		利用契約書に義務として記載し、契約時にて説明していますが、開設以来身体拘束は行っていません。	

